



医師の異動

2021年12月1日付新任
脳神経外科 医師 村井 智



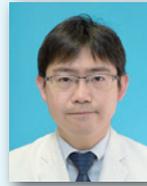
編集後記

新しい生活様式にも慣れてきましたが、まだまだコロナ禍です。日増しに寒さが身に染みるようになり、ワイワイと温かい鍋を囲みたいですね。引き続き、感染対策を行いながら、気を緩めず、寒さにもコロナにも負けず、楽しい時間を過ごしましょう。【広報(看護師)/Y.A】



表紙：2017年JR山口線 D51 復活(徳佐) 安光正治

新任医師のご紹介



(むらい さとし)
脳神経外科 医師 村井 智

専門領域 / 脳神経外科

趣味・特技 /
ダイビング、ジャグリング



自己PR・地域の方へのメッセージ /

5年ぶりに岩国医療センターに戻って参りました。岩国の皆さまの健康に貢献できるよう尽力いたします。よろしくお願いたします。

オレゴンからこんにちは!

Part2 (全3回)

～アメリカ留学、そして帰国～

記 新開 純子

オーストラリアで海外生活に興味を持った私ですが、住むならアメリカかなと思いました。なぜかと言うと、アメリカの人の方がフレンドリーに感じたからです。

さて、アメリカに住むにはどうしたらいい?調べて見ると、就労ビザは簡単に取れそうにないし、留学が手っ取り早いと思い、留学することにしました。そして当時オレゴンに住んでいた友達を訪ね、そこできれいな街並みのポートランドが気に入り、ポートランドの英語学校に留学を決めたのです。



オレゴンの国立公園クレイターレイク: 英語学校のクラスメイトと



ポートランドのローズガーデン: 英語学校で紹介してもらったカンパセーション・パートナーとクラスメイト。

数か月後、学生ビザを手に渡米。ホームステイしながら英語学校に通いました。最初は一番下のレベルから始まった英語クラスも、1年後にはビジネススクールに行けるまでになり進学。そのトラベルコースに9か月通ったところで、1年間働ける資格が取れたので、こんどは旅行業が盛んなラスベガスに引越しました。

ラスベガスでは日系の旅行会社に就職し充実した日々を過ごし、目指すはさらに働けるようなビザの取得、だったのですが、日本の母親の病気が再発したため帰国することに。

帰国後母を看取り、ヘルパーとしてデイサービスで働き、空港の仕事が見つかり転職し、とまあ普通の生活をしていて、アメリカに戻ろうという気も褪せていたある日、同僚が「アメリカの永住権の抽選の締切が今月末なんだよね。」と話していました。「へ～、私も応募してみようかな」なんて軽い気持ちで応募したら。。 つづく。



海苔巻き: 留学時のパーティでは、のり巻きを作りました。



ショー: ラスベガスでは大好きなショーをたくさん見ることができました。写真はフリーモント・ストリート・エクスペリエンスという、無料のイルミネーションショー。



ザイオン: ラスベガスの旅行会社勤務時に、ツアーに同乗してザイオン国立公園へ。